

串木野IC-市来IC間が開通

地域の活性化に期待



工事経過を報告する遠藤所長(上)とくす玉を開破して開通を祝う
串木野市の現地で

南九州西回り自動車道・川内道路の串木野ICから市来IC間の開通式典が13日、串木野市上名の串木野ICであり、国や県、沿線市町、施工企業の関係者ら約200人が出席。記念植樹やくす玉開破を祝った。

玉開破の後、車両パレードを行い開通を祝った。式典後、同区間は同日午後4時から無料の自動車専用道路として一般開放された。

国交省九州地方整備局の岡山和生局長は「同自動車道は地域経済活性化と高速定時性確保にとって重要な幹線道路。14年の年月を重ね一般供用できたことを関係者に深く感謝を述べた。県議会

感謝を申し上げる。薩摩川内市、出水市の残り区間についても引き続き計画的に着実に進めていきたい」と式辞を述べた。伊藤祐一郎県知事は祝辞で「県内高速自動車道の全線開通は喫緊(きんきん)の課題である。広域高速ネットワークづくりのために皆さんと一緒に取り組んでいきたい」と決意を述べた。県議会

谷俊彦出水市長が万歳三唱をした。式典では冷たい強風とボタ雪が舞うなか、生福保育園の園児らが元気にこども八木節を披露。また選抜甲子園に出場する神村学園の田島仁龍選手が「高速道路整備のおかげで九州各地の学校と対抗試合ができるようになった。この道路が夢の架け橋になるよう願っています。甲子園ではがんばります。応援よろしくお願いします」とメッセージを朗読した。くす玉開破・テープカットでは関係者らと一緒に施工企業を代表して田代卓郎(株)田代組社長が立ち合った。



主催者の案内で渡り初めをする市民
串木野市の麓大橋で

残区間の薩摩川内市都町(隈之城IC仮称)まで
は18年度内供用を目指し
着々と整備が進んでいる。

串木野の新玄関口に

串木野市が同市麓土地区画整理事業を進めている麓大橋と金山川橋が12日、完成。渡り初め協賛

会(西別府一宏会長)の主催で開通安全式典を行った。麓大橋と金山川橋が12日、完成。渡り初め協賛

事務所協会大島支部総会

新支部長に鬼塚氏



鬼塚清正新支部長

県建築士事務所協会大島支部(栄博昭支部長)総会が12日、名瀬市の奄美サンプラザホテルで開かれ、収支決算・収支予算等承認したほか、任期満了に伴う役員改選では鬼塚清正氏(前鬼塚設計)が新支部長に選出された。



予算など決めた総会
名瀬市の奄美サンプラザホテルで

25年務めた栄氏が勇退、新支部長に鬼塚清正氏が選出された。このあと本部から駆け付けた宇佐庵徳司副会長が中原達也会長のメッセージを読み上げた。県大島支庁建築係長の

県建設業協会加世田支部等

確認の相談事例等紹介

県建築士会南薩支部(室部重三支部長)、東信義支部長、県建築士事務所協会南薩支部(室部重三支部長)等、加世田支部等、確認の相談事例等紹介



真剣な面持ちで聴講する会
員ら加世田市の南薩建設業

11日、加世田市の南薩建設業協会館で3団体合同研修会を開き、出席した約80人の参加者は確認申請の事前相談事例や公共工事の工事監理について学んだ。

営業は「顧客第一」
塩屋 潤さん
営業に転属して約3カ月。浄化槽の設置を中心に、システムキッチンなど水まわり全般の住設機器をお客さまに提案しています。日常生活に密着したもので、うれしいですね。営業はとにかく「顧客第一」。お客さまのニーズにいかに対応していくかが大切で、勉強することがまだまだたくさんです。先輩からも、営業のノウハウについてアドバイスをもらっています。趣味は音楽。自分で演奏するのが好きで、高校時代はギター、大学では音楽サークルでサクソフーンを吹いていました。今でも暇があれば練習していますが、やっぱり何もかも忘れられる「至福のひとつ」ですね。(明興住機(株)営業部)